



「みんなのSDGs」。日本福祉大学の学生とのインタビュー内容（第2弾）を報告します！  
身近な取り組みを知って、みんなでSDGsに取り組んでいきましょう！

## スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社

地域密着企業としてSDGsを通じて地域貢献を深めていく



インタビュー：  
日本福祉大学 溝口綾子さん

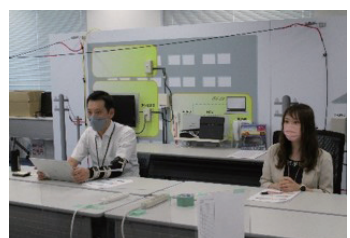


スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社は、名古屋市に本社を置き、電気通信事業、放送事業、映画事業をされています。

直営映画館「伏見オリオン座」と「センチュリーシネマ」では、再生素材を利用したスタッフの制服の採用、フェアトレード商品の取り扱い、ストローがいらぬコールドドリンクの蓋の使用などの取り組みをされています。

今年11月にはSDGsに関わる映画などを上映する「NAGOYACHINEMAWeek2022～withSDGs～」を開催されます。さらにSDGsに関する番組の放送などを通じて、SDGsを発信・啓発する活動を展開されています。

また、社内でのSDGs啓発活動にも注力されており、会社の事業を企画する際にはSDGsの視点を常に意識するようになったことや、日常生活でもレジ袋を買わないようになったなど、社員の意識が変化してきたことが大きな成果だと感じました。SDGsを達成していくためには、会社としての活動と個人としての取り組みがつながることが大切だと感じました。



▲SDGsの取り組みの大切さを語る社員さん

## いわくらにほんごクラス

日常会話を使って「にほんご」の習得を！



インタビュー：  
日本福祉大学 和田渉夢さん



いわくらにほんごクラスでは、市民プラザで、生活に必要な日本語を学びたい外国籍市民向けに日本語サポーターと日本語での対話型会話練習を行うことのできる教室を開催しています。対話型会話練習では、定型的な日本語の文法や用意されたダイアログで学ぶのではなく、普段のくらしの中で使える会話をテーマに、自分が言いたいことを写真やスマートフォンの翻訳機能などで伝え、より実践的な日本語を学ぶことができます。

日本人だけが日本語を教えるのではなく、外国人コーディネーターも協力してサポートすることにより、参加者からも多くの喜びの声が上がっているそうです。

今ではこのクラスがきっかけで、岩倉市に移住したいという人もいることもお聞きしました。

現在、岩倉市には約2,700人も外国籍市民が住んでいます。なかには、言語の壁が理由で外に出ることをためらっている人も少なくないと思います。いわくらにほんごクラスのことを一人でも多くの方が知り、活用することによって、岩倉市が私たち日本人にとっても外国籍市民にとっても住みやすいまちになると感じました。



▲対話型会話練習で日本語を学ぶ



▲実際に使用されているテキストの説明

●問合せ先 秘書企画課企画政策グループ (☎ 38-5805)